



委嘱状の交付

藤里町をもっと元気に！

# 地域おこし協力隊員を紹介

「地域おこし協力隊」とは…  
 地方自治体が、都市部の人材を受け入れて委嘱する。地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化につなげる制度です。

9月1日、藤里町役場において、藤里町地域おこし協力隊員へ委嘱状が交付されました。

藤里町初の地域おこし協力隊員に委嘱されたのは、鈴木誠紘さん（29歳）。委嘱期間は9月1日から平成27年3月31日までで、最大で3年度（平成29年3月31日）まで延長できます。上茶屋地区に住み、主に北部地区を中心に活動していきます。

鈴木さんは、「白神山地に興味を持ち、調べていくうちに魅力を感じた。伝統を基盤に発展していった藤里町をもっと見てみたい。地域の方と仲良くしながら住んでいる人の声を聞き、小さくてもできることをしていきたい。少しずつ町を元気にしていけたらと思っています。」と意気込みを語ってくれました。

鈴木誠紘さんプロフィール  
 青森県生まれ。都内の大学を卒業後、名古屋市の飲食店で勤務を経て、藤里町地域おこし協力隊に。  
 父親は山形県酒田市出身、母親は小坂町出身。

## 「地域おこし協力隊」Q&A

Q. 隊員は全国に何人いるの？

A. 実施しているのは全国318の自治体で、隊員は978名、秋田県には18名の隊員がいます。（平成25年度、藤里町除く）

Q. 隊員はどんな活動をするの？

A. 地域行事やイベントの応援、伝統芸能や祭りの復活、地域ブランドや地場産品の開発、住民の生活支援や農業支援、耕作放棄地の再生など様々な分野があります。当町の鈴木隊員の活動は、地域行事に参加しながら地域の課題やニーズに向けた活動と番楽の維持活性化の支援、及びお宝の発掘と活用などの自主的地域振興など、北部地区を元気にする活動です！

はじめまして。藤里町北部地区で地域おこし協力隊をしている鈴木誠紘です。  
 協力隊として地域の方々と一緒に汗をかきたいです。



Facebook 日々更新中！！

「Facebook 藤里町地域おこし協力隊」

で検索！！



<https://www.facebook.com/fujisato.okoshitai>